

組合長年頭訓示

(一月四日 本所) 山本武組合長

「組合員と発展する 組織を目指す！」

一月四日の仕事初めにあたり、山本武組合長は、本所職員を前に年頭訓示を述べた。当日は降雪により本所を除く事業場には、それぞれ書面をもって訓示を通知した。



■訓示の骨子

年頭にあたり、それぞれ計画や目標を掲げていることと思うが、本年度の事業計画や第六次中期計画の再検証と共に「夢の実現3S」のスローガンに向けた推進行動について皆で英知を結集し、組合員ともに発展する組織となるよう頑張りに期待し、次の七点の徹底と実行を求める。

一 コンプラ重視の組織人として モラルの徹底を

▼広酪のコンプライアンス方針に定める精神を失することは、信頼関係を違ふことである。組織の一員としてのモラルを常に心がけること

二 生乳生産基盤の確保対策

▼3M事業によりカンフル剤的な役割は十分に果たしている。この事業遂行期間に如何にして後継牛確保を実現出来るかは、各組合員によって様々である。資本投入により経営に大きく影響することから堅実な手法をアドバイスすべきである。

三 経営に問題のある組合員指導の徹底

▼経営状況を農家自身が記帳等により把握されていない場合が意外と多い。
▼資産の推移や今後の計画におけるバロメーターとなる簿記記帳こそが基本。徹底した指導を喚起すべき。

四 組合員指導と情報共有

▼「組合員から指導の徹底をして欲しい」との要望が多く寄せられている。

物品の配送に終わらないよう組合員の作業に支障の無い時間帯でアポイントをとって、双方向の情報共有にあたらせたい。

五 乳質改善の徹底

▼中販連における会員毎の乳質データに改善が見られない。近い将来において統一した改善目標値を示すことになると思われるが極端に短期間で改善することは難しい。担当職員の責任は勿論であるが、乳質改善プロジェクトチームによる徹底指導を求める。

六 事務処理の適正化と事後処理

▼事務処理の誤りに対する組合員からの意見が寄せられている。これは職員としてのプロ意識の欠如であり、誠に遺憾である。過去に遡り検証しなければならぬ時間と労務の支障は勿論であるが、一番迷惑を被っているのは組合員である。信用失墜となる案件について、厳しく対処していきたい。心して事務にあたるよう注意喚起する。

七 人事における担当部署が固定化

▼マンネリを打破するために、仕事に対する手法、発想、着眼点を変えてみる必要がある。常にオールラウンドプレーヤーとしての素質も必要になってくるので業務についての知識を蓄えておくべき。

TPP 反対活動 JA農青連 「街宣車でTPP 反対」を訴える!!



県内で反対活動を続ける街宣車

広島県農業協同組合青壮年連盟(JA広島農青連)は、県民に広くTPP参加への問題意識の醸成と断固反対姿勢を訴えるため、「TPP参加断固反対」を冠した街宣車を走らせ、訪問を受けた広酪本所事務所では「STOP TPP」のトレーナーに身を包んだ役員らが出迎え、今後のTPP参加阻止に向けた行動と決意を新たにされた。